

演題番号：OS-1-03-05

化学療法を受ける乳癌患者の爪の変化の実態 －多施設アンケート調査から

- 玉井奈緒（東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻）
- 池田真理（東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻）
- 矢形寛（埼玉医科大学 総合医療センター プレストケア科）
- 齊藤光江（順天堂大学医学部乳腺内分泌外科）
- 吉田悠子（順天堂大学医学部乳腺内分泌外科）
- 野澤桂子（国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター）
- 矢嶋多美子（NPO法人 日本臨床研究支援ユニット 臨床研究支援部門）
- 三階貴史（千葉大学大学院 臓器制御外科）
- 吉村章代（愛知県がんセンター中央病院 乳腺科）
- 長谷川善枝（弘前市立病院 乳腺外科）
- 土井卓子（湘南記念病院 かまくら乳がんセンター）
- 真田弘美（東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻）
- 渡辺隆紀（仙台医療センター 乳腺外科）



利益相反



The Japanese Breast Cancer Society
since 1992



筆頭演者の利益相反状態の開示

すべての項目に該当なし

化学療法が及ぼす爪への影響

■ 客観的評価に基づく抗がん剤による爪の変化

(Minisini, 2003. Winther, 2007. 竹下, 2008.)

- EC・FEC・ドセタキセルで約80%の患者が爪変化を経験
- 3クール目での変化が最も多い
- 客観的所見：変色、横縞、爪の剥離、反り返り、爪下出血、爪が薄くなる、水疱、爪周囲炎など



(Minisini, 2003)

「爪の変化」は患者自身ならびに他人の目にもつきやすく、病気を自覚させることで自尊心低下を起こしやすい (小濱, 2009)

患者自身が訴える爪の変化に対する自覚を理解することで、より良いケアに繋げることが可能

7/2/2015

3

目的

- 日本における多施設大規模調査により、術後補助化学療法を受けた乳癌患者の爪の変化に関する自覚を明らかにすること

7/2/2015

4

方法

■ 研究デザイン

- 二次データ解析
- 「公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンターヘルスアウトカムリサーチ支援事業（CSP-HOR）化学療法に伴う脱毛患者サポートに関するワーキンググループ」による、『**乳がん化学療法経験者に対する脱毛等の美容的問題に関する調査研究**』のデータのうちの、**爪に関する評価と自由記載**を使用

7/2/2015

5

方法

■ 対象

- 脱毛等の美容的問題に関する調査研究に登録した49医療施設
- 5年以内に乳癌術後補助化学療法を受けた無再発の外来受診患者

■ 研究期間

- 2013年4月～10月

■ 調査方法

- 研究期間内に国内医療施設に調査協力と質問紙の回答を依頼
- 質問紙への回答は患者本人とした

■ 倫理的配慮

- 各施設の倫理審査委員会の承認を得て実施

7/2/2015

6

質問紙の構成

- 患者属性
- 治療中の爪の変化についての質問（選択肢と自由記載）
 - 爪に関する質問：3段階のLikert尺度と自由記載

例)

抗がん剤（化学療法）を行っている間、あなたの「爪」は変わりましたか。

<ul style="list-style-type: none"> ・手の爪について（1つに○） 1) ほとんど変わらなかった 2) 半分くらい変わった 3) ほぼ変わった（8、9割程度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・足の爪について（1つに○） 1) ほとんど変わらなかった 2) 半分くらい変わった 3) ほぼ変わった（8、9割程度）
---	---

2) または3) と回答した方にうかがいます。どのように変わりましたか。具体的に記述してください。

7/2/2015

7

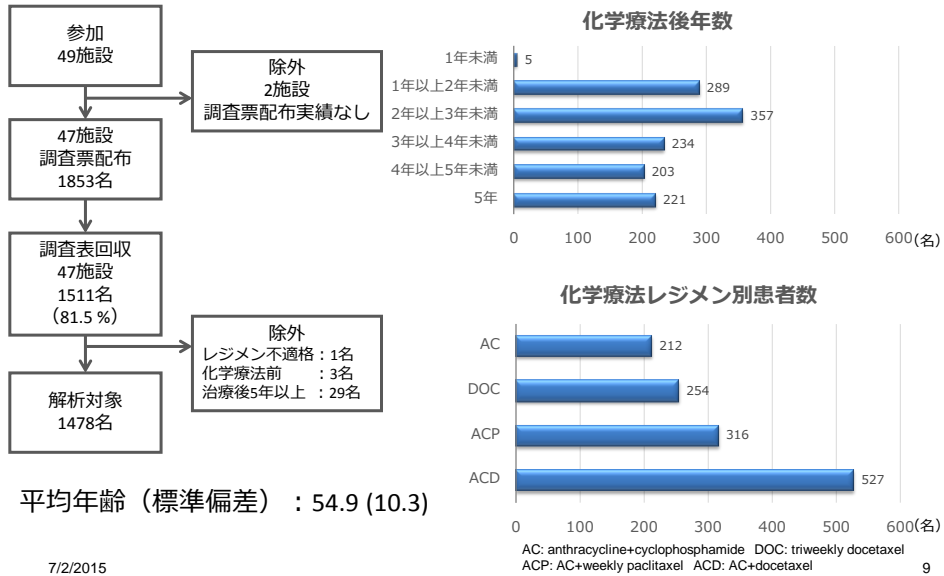
分析方法

- 記述統計
- 症状の有無とレジメンの関係を分析（ χ^2 検定）
 - SPSS Statistics 22.0 for Windowsを使用
- 自由記載欄の記述について質的内容分析を実施
 - 記述内容を研究者が繰り返し読み、文章中の前後の文脈や意味を読み取りながら、爪の症状に関する最小の記述を抽出（コード化）
 - 共通するコードごとにサブカテゴリーを生成
 - さらに共通のサブカテゴリーを抽象化しカテゴリーを作成
- 分析過程において、質的研究に長けた研究者1名よりスーパーバイズを受けた（信憑性の担保）

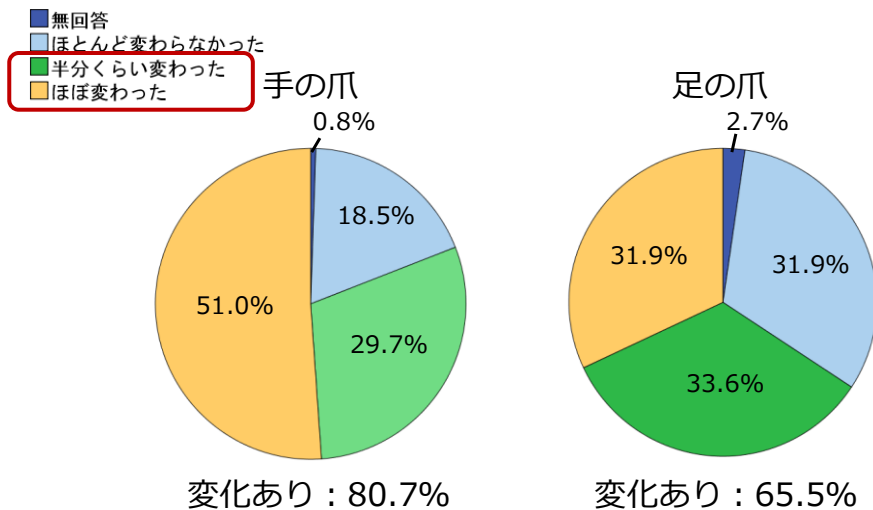
7/2/2015

8

結果：患者概要



結果：爪の変化に関する回答



結果：爪変化の訴えとレジメンの関係

	手の爪の変化	足の爪の変化
	あり (%)	あり (%)
AC	76.4	52.8
DOC	83.5	66.5
ACP	74.4	55.3
ACD	85.3	72.9
P値	< 0.01	< 0.01

AC: anthracycline+cyclophosphamide DOC: triweekly docetaxel
ACP: AC+weekly paclitaxel ACD: AC+docetaxel

手足共に爪の変化の有無とレジメン (AC、DOC、ACP、ACD) との間に有意な差があることが認められた

7/2/2015

11

結果：爪（手）の変化の回答



カテゴリー (コード数)	(%)
変色 (732)	75.4
横溝 (359)	37.0
もろい (277)	28.5
爪の剥離 (128)	13.2
厚みの変化 (88)	9.1
変形 (60)	6.2
縦縞 (58)	6.0
二枚爪 (40)	4.1
疼痛 (26)	2.3
乾燥 (15)	1.5
感染 (13)	1.3
伸びの遅延 (10)	1.0
爪半月変化 (3)	0.3
斑点 (2)	0.2
出血 (1)	0.1
肉芽 (1)	0.1

- 自由記述あり：971名
- 1793コード→49サブカテゴリー→16カテゴリー

サブカテゴリー (コード数)	(%)
黒に変色 (430)	44.3
褐色に変色 (61)	6.3
紫色に変色 (50)	5.1
白っぽく変色 (29)	3.0
黒い線 (21)	2.2
白い線が入った (20)	2.1
黄色に変色 (17)	1.8
灰色に変色 (6)	0.6
青っぽく変色 (2)	0.2
赤い筋 (1)	0.1



(竹下, 2008)

7/2/2015

12

結果：爪（足）の変化の回答



カテゴリー（コード数）	(%)	
変色 (579)	76.9	■ 自由記述あり：753名
横縞 (192)	25.5	■ 1335コード→48サブカテゴリー→15カテゴリー
爪の剥離 (172)	22.8	
もろい (131)	17.4	
厚みの変化 (92)	12.2	
変形 (81)	10.8	
疼痛 (26)	3.5	
二枚爪 (19)	2.5	
伸びの変化 (17)	2.3	
乾燥 (11)	1.5	
感染 (7)	0.9	
出血 (6)	0.8	
不快感 (3)	0.4	
斑状 (2)	0.3	
爪半月変化 (1)	0.1	

サブカテゴリー（コード数）	(%)
黒に変色 (368)	48.9
褐色に変色 (41)	5.4
紫色に変色 (40)	1.3
白っぽく変色 (18)	2.4
黒い線 (14)	1.9
黄色に変色 (7)	0.9
白い線が入った (3)	0.4
灰色に変色 (2)	0.3
茶色の線 (1)	0.1

7/2/2015

13

考察

- 手足共に爪の変化の有無とレジメンとの間に有意な差を認めており、今後はレジメン別の変化の違いやケア方法について検討していく必要がある
- 患者の多くが、多様な爪の変化の中でも、特に**黒色をはじめとする、手足の爪の変色**を自覚していたのは、近年**ネイルケア**など爪のおしゃれを楽しむ機会が増え、**爪への関心が高まっている**ことが一因と思われる
- 足の「**爪の剥離**」を訴える割合が手の爪と比較して多かった理由として、**歩行や靴による刺激**が影響している可能性が考えられる
- 本研究は質問紙への回答時期が患者によって異なっており、想起バイアスや回答時の治療・心身の状態に影響を受けている可能性がある

7/2/2015

14

まとめ

爪に関する外見変化へのニーズに対応するため、
 特に爪の変色を改善するような爪のケアや
 変色をカバーでき、安心して使用できるマニキュアの
 紹介など、治療前からの予期的指導の必要性が示唆された

7/2/2015

15



ご協力いただいた施設

この研究は公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンターのヘルスアウトカム支援事業(CSP-HOR)の一環として実施された。

千葉大学医学部附属病院	聖路加国際病院
愛知県がんセンター中央病院	弘前市立病院
仙台医療センター	湘南記念病院
佐久総合病院	青森市民病院
さいたま赤十字病院	群馬県立がんセンター
みやうちクリニック	岡山大学病院
千葉県がんセンター	大阪成人病センター
大分県立病院	東京都立駒込病院
順天堂大学医学部附属順天堂医院	社会保険久留米第一病院
東海大学医学部附属病院	大垣市民病院
相良病院	関西労災病院
大分医療センター	公立甲賀病院
熊本赤十字病院	星総合病院
帝京大学ちば医療センター	JA北海道厚生連旭川厚生病院
原町赤十字病院	大阪労災病院
神戸市立医療センター中央市民病院	関西医科大学附属枚方病院
鹿児島大学病院	旭川医科大学
東邦大学医療センター大橋病院	松下記念病院
国立病院機構四国がんセンター	九州がんセンター
久留米大学病院	京都桂病院
青森県立中央病院	はしづめクリニック
りょうクリニック	長野市民病院
済生会兵庫県病院	新潟大学医歯学総合病院
江南厚生病院	

16